

2018 年度第 3 回町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会

議事要旨

【日 時】2018 年 8 月 8 日（水） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 40 分

【場 所】市庁舎 2 階（2-2）

【出席者】

委員：松波（委員長）、奥（職務代理）、澤井、斎藤、越智、藁澤、

事務局：町田市環境資源部 水島、環境政策課 塩澤、川瀬、土志田、坂牧、井上

コンサルタント：株式会社知識経営研究所

【傍聴者】0 名

資料 1：2 次評価結果一覧

資料 2：2018 年度町田市環境マネジメントシステム外部評価報告書（案）

議題 最終評価結果および市への提言

松波委員：第 3 回町田市環境マネジメントシステム外部評価委員会を開催いたしたい。まずは本日の資料について事務局に説明をお願いしたい。

事務局：（本日の資料の確認）

松波委員：それでは議題に入りたい。資料の内容について事務局に説明をお願いしたい。

事務局：（主に資料 1 の内容説明）

松波委員：資料 2「2018 年度町田市環境マネジメントシステム外部評価報告書（案）」の内容についてはコンサルタントに説明をお願いしたい。

コンサルタント：（2018 年度町田市環境マネジメントシステム外部評価報告書（案）の 1～3 頁について説明）1～3 頁について何か意見はあるでしょうか。（意見なし）続いて 4 頁の町田市環境マネジメントシステムに対する評価を見ていただき、ここからは評価項目ごとに意見をいただきたい。

システム全体

コンサルタント：システム全体について評価としては皆さんおおむね高い点数をつけている。皆さんからいただいた意見を主な評価意見にまとめているが、追加、変更したい点はあるでしょうか。奥委員、評価意見は厳しいが、点数は 4 点と高い。ここについてはどうお考えでしょうか。

奥委員：ほかの評価項目と統一性をもたせるため 3 点に変更したい。

コンサルタント：他に何か意見はあるでしょうか。ないようなので次にいきたい。

計画

コンサルタント：計画についても非常に高い評価を得ている項目である。主な評価意見を見ていただき、追加、変更したい点はあるでしょうか。ないようなので次にいきたい。

実施

コンサルタント：実施は点数が低めである。研修の受講率が低いというほぼ同じ意見を皆さんからいただいているので集約すると意見が少なく見える。この評価項目は他の評価項目に比べボリューム的に少なくなっているなので、ひとつ、ふたつ意見をもたせると全体のバランスが良くなるのでお願いしたい。斉藤委員の「優良事例について、研修資料や庁内掲示板など情報共有されている点は良いと思う」というコメントを追加したいがどうでしょうか。

各委員：よろしい。

点検

コンサルタント：点検も点数が高いのでおおむね評価できるということである。意見等ある方はお願いしたい。ないようなので次にいきたい。

見直し

コンサルタント：主な評価意見に松波委員のホームページの階層が深いので市民がみつけにくいというコメントを追加するか。

松波委員：主な評価意見の所にうまくまとまっていると思うのでこのままで良い。

温室効果ガス排出量・エネルギー使用量

コンサルタント：ここは 3.3 と低い点数になっているが、意見はそこまで辛くないところが見られた。主な評価意見の最後の所だが、電力供給会社の変更や排出係数の変化は実績報告書に載せるということによろしいですね。

奥委員：対応済みということですね。

事務局：排出係数が東京電力だけのものを前回の資料では修正した。修正済みのものを実績報告書に載せるので対応済みである。

コンサルタント：奥委員何かあるでしょうか。

奥委員：私は 4 点をつけたが、小池委員は 2 点と厳しいですね。

コンサルタント：小池委員はまだまだ足りないということで厳しい評価をしているのでしょうか。現状のままで 2021 年度の目標達成が難しいので、事務局としても、もっとがんばらないといけないという感じですかね。

事務局：はい。

コンサルタント：葉澤委員の目標達成に向けて少しずつでも努力をというシンプルだけど重みのある意見を追加しましょうか。葉澤委員、これはもっと努力をしてほしいということですね。

葉澤委員：はい。

廃棄物・紙資源・グリーン購入

コンサルタント：ここが最も低評価になっていて、主な評価意見にも厳しいコメントのみを記載している。

松波委員：実際にはグリーン購入についての意見もあり、さらにグリーン購入は達成率も高いし、取り組みも評価されているので、引き続き頑張ってもらいたいという意味合いも込めてコメントを追加してほしい。

コンサルタント：奥委員の意見に含まれると思うが、組成の下水処理の汚泥とか、病院の医療廃棄物とか、件数（量）が非常に多く、これらは自助努力のみでは減らせない。そこに引っ張られている部分が大きいのではないか。奥委員のコメントはそのへんも含めて見直したほうがよいといった意味合いですね。

奥委員：はい。

エコオフィス活動（共通の取り組み）

コンサルタント：おおむね良いというコメントが多かったが、どこを頑張っているか等、何か意見があればお願いしたい。

奥委員：主な評価意見の最後は私のコメントだと思うが、温室効果ガス排出量削減につながるエネルギー使用量の削減や、それ以外の環境負荷低減の取り組みが、現状の日々のエコオフィス活動では頭打ちの状態になってきている。建物全体を今後どうしていくかという意見である。

コンサルタント：施設管理とか統廃合等は環境部門のmatterではないですが。これについては。

奥委員：matterではないが、だからといってそこに手を付けないわけにはいかない。現状ではやり尽くされてしまっているんで、そういった視点をもって施設更新、再編計画の中に組み込んで進めていかないとこれ以上の省エネ等の環境負荷の低減は厳しい。これは市全体の話である。今すぐという話ではないが、課題である。

コンサルタント：町田市は環境という視点で他市に比べ施設や設備を更新する際に省エネ機器を導入したりそういったことをかなりやられている印象がある。

松波委員：かなりやりつくしている感があるので、という前提があつての奥委員の話だと思う。

コンサルタント：環境負荷低減の視点をもって計画的に施設の再編、統廃合等を進めていくことが望ましいということではないですかね。

奥委員：はい。

エコオフィス活動（施設を管理する部署の取り組み）

コンサルタント：評価点は 4.1 と少し高めである。ここについては皆さんいかがでしょうか。

奥委員：現地確認に行った図書館などは、これ以上取り組み様がないように見受けられたため、こことひとつ前の項目に同じ意見を入れた。

松波委員：その意見は、エコオフィス活動の共通の取り組みに記載しておくことで、エコオフィス活動全体への意見とするのが良いのではないかな。

内部監査

コンサルタント：コメントを見ると皆さん厳しめに思うが、評価は高い。これは第 2 回外部評価委員会で内部に対して手厳しい監査をしているということがわかったので、それを聞いての評価ですかね。他に何か意見はあるか。無いようなので 7 頁にいききたいと思う。

おわりに（まとめ）

コンサルタント：（全文読んで）これに加えて施設全体のことについて触れられたらと考えている。皆さんの中で、言いたいことはそうではない、これを追加してほしい等あれば意見をお願いしたい。

越智委員：これでよろしい。

斎藤委員：一生懸命やっているが、結果の数字として出てこないというところを強調して書いたほうがいいと思う。ここからは私の意見になるが、仕組みそのものを変えないと目標達成ができないと思う。例えば職員の 2 割をテレワークにすると、紙の使用量は相当削減される。そういった大きな業務改善がないとこれ以上の CO2 削減等は厳しい。今回現場を見てものすごく疲弊感を感じた。

コンサルタント：これは大きくまとめて、事務改善という言葉でまとめさせていただいて良いですかね。

澤井委員：これでよろしい。

葉澤委員：これでよろしい。

奥委員：2 段落目の 2 行目に日常的な環境行動って言葉が使われていますが、エコオフィス活動のことですかね。そうであれば評価項目と同じ言葉を使っていただきたい。また、追加で施設の更新、再編の対応も求められるってことも入れていただけるということでよろしいですね。

コンサルタント：はい。

松波委員：見直しのところになるが、現状ではホームページ等、市民に閲覧してもらえない状況で、市民への公表の仕方をもう少し考えてもらいたい。市がこれだけ

やっているということを市民に知ってもらうということが、環境政策を考える上で大切で、せっかく先進的なシステムを取り入れているので、市民がそれらを知らないというのは悲しい。1 行だけでもいいのでそういった内容を追加してもらいたい。

コンサルタント：他に何か意見ある方は。

斎藤委員：町田市ホームページを見たが、見たい情報が載っていない。キャラクターのハスのんは町田市が見せたい情報であって、市民が見たい情報ではない。市民が見たい情報を載せるようにしてほしい。こういう先進的な取り組みをやっていると、これだけ成果を上げているというような市民に関心をもってもらいたいという情報をもっと発信してほしい。

コンサルタント：内容の精緻さや透明性を高めるほど、情報としては見にくくわかりにくいものになってしまうので、市民向けの概要版みたいなものがあったもいいかもしれないですね。

澤井委員：周知の仕方、情報発信の話をするすると必ず広報にたどり着いて、その次にホームページで何をするのかという話になる。私も外部評価の委員会に出て初めて町田市の EMS の仕組みを知ったが、このような情報はホームページをもっと能動的に見ないと知りようがない。例えば電子機器等の媒体で進行する会議に出ると、紙はないのかと言い出すのは市民側である。その時に町田市ではこういうシステムでやっているの、会議では紙を一切配布しないと宣言してダイナミックにやってみてはどうか。市民側の意識が変わらないと内部ではいろいろ工夫をしても、それが伝わらない、変わっていかないのであれば、市側がもっとダイナミックにやってもいいのではないかと感じる。市民に合わせる必要はないのではないかと。どう認知してもらうかというのはすごく難しいし、受動的な情報発信は限界じゃないかと思う。

コンサルタント：たしかにジレンマを感じるころであって、市民の方がどれだけ興味を持っているかどうか、役所が興味を持たせるような周知やイベントをやっているだけで認知されるかというせめぎあいだと思う。1 つ言えるのは、町田市は情報開示はしっかり行っているが、それを市民に見てもらわないと意味がない。見やすくする工夫、ホームページの階層云々もそうだが、本当に市民が閲覧してくれるのかというのが私も課題だと感じている。

斎藤委員：町田市ホームページはどこも見にくい。改善を望む。

コンサルタント：この外部評価委員会の内容等がアップされている所は入り口が分かりづらい。トップページの「環境・ごみ」から入って、その次に「環境に関する計画・会議」を選ぶ、という順序で良かったですか。

事務局：はい。

松波委員：町田市環境政策を成功させるために、市ではこれだけの取り組みを行っているの、市民の皆さんももっとやりましょう！というメッセージになるので、見やすくなるよう改善をお願いしたい。市民にこれだけやっているというのをアピールしてもらいたい。

澤井委員：市のホームページは活字だらけで見にくい。興味がないと読む気にもなれないので、画像や絵をもっと工夫して入れてもらえればと思う。

斎藤委員：ハスのんは最初にこなくても良いのではないかな。何の意味があるのか疑問である。

コンサルタント：町田市はハスのん以外にも何かあるか。

事務局：テーマごとにキャラクターはいるが、市のマスコットはいない。
ハスのんはエコキャラクターである。

斎藤委員：例えばトップページを見たら、町田市CO₂排出量が日本一低いとかあれば見たいですね。

コンサルタント：一般の人だとあまり興味がないかもしれない。

斎藤委員：町田市はどう頑張っているのか、町田市は何をやっているのかと皆思っています。ホームページに関してはセンスの問題もあるが。

コンサルタント：町田市の取り組みは透明性が高く、先進的であるので、もっとアピールすれば良いと思う。控えめな奥ゆかしさを感じている。東京都はかなりアピールしています。

松波委員：電車ジャックをするとかどうですかね。東京都はやっていますよね。

コンサルタント：報告書以外のところでも意見があればお願いしたい。
無いようなので、今後は皆さんからの意見を踏まえて改善するところは改善するという流れになる。今回は結構宿題が多いのではないですかね。

事務局：大きなテーマをいただいている。

コンサルタント：ホームページが変わるのかどうか。

葉澤委員：適宜チェックしたい。

松波委員：修正箇所についていくつか出たが、全体を通してさらに意見や質問等はあるでしょうか。2018年度町田市環境マネジメントシステム外部評価報告書（案）の4～6頁の意見があった部分については直して頂き、7頁の原案が出来上がったら私のところでチェックさせて頂き、最終的に決めさせて頂くということでしょうか。

それでは皆さんありがとうございました。